

令和3年2月15日

校長先生のお話

地震に備える

あいさつをします。大きな声は出さないで、小さな声でしましょう。

皆さんおはようございます。

今日は地震のお話です。

先週の土曜日の夜遅くに大きな地震がありました。11時過ぎだったので、もう寝ていた人もいます。地震で起きた人、「地震よ」とおうちの人に起こされた人もいたかもしれません。校長先生は、ちょうどベッドに入ったところでした。大きな揺れが来たので、周りからものが落ちてこないか、倒れてこないかを見ながら、揺れが収まるのを待ちました。その後、起きて、テレビのニュースを見ながら、余震に備えました。

今回の地震は、10年前の東日本大震災の余震だそうです。10年前なのに関係があるのかと思うかもしれません。10年は人間にとって長い時間ですが、46億年前にできた地球にとっては一瞬なのです。

今回の地震では、倒れた家はほとんどありませんでした。余程大きな地震でない限り、学校も皆さんの家やマンションも倒れることはないと思います。気をつけてほしいことは、上から落ちてくるものや倒れてくるものです。ニュースでは、お店の商品やお皿が落ちた映像、土砂崩れ、塀が倒れたところなどが数多く流されました。

教室の中を見てください。掃除用具入れの上や給食の白衣のロッカーの上はどうでしょう。落ちてくるものはのっていませんか。落ちてきても大丈夫ですか。そして、天井の蛍光灯が危険です。上から落ちてきたら大変です。ですから、地震が起きたら、すぐに机の下に隠れます。

外にいるときも同じです。校庭にいる場合、校舎の窓ガラスが落ちてくるかもしれません。そのため、校庭の真ん中にしゃがみます。

通学路では、ビルの窓やお店の看板などに注意しなければなりません。塀が倒れてくるかもしれません。外にいるときは建物から離れることが大切です。ただ、歩道を歩いている場合は、車道に逃げるわけにはいきません。歩道など、広くないところにいる場合は、近くの建物に逃げ込む方が安全な場合もあります。公園などがあると一番いいですね。通学路を歩きながら、今ここで起きたら、どうすれば一番安全なのかということのを常に考えておきましょう。

そして、訓練も大切です。毎月の避難訓練をしっかり行い、実際に起きた時に、落ち着いて行動できるようにしましょう。

それでは、今週も、コロナだけでなく、地震にも気をつけて健康に安全に過ごしましょう。